

科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会
歯学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）
議事要旨

日時 平成31年4月25日（木）16:00～16:40
会場 日本学術会議 5-A（2）会議室
出席者 丹沢委員、朝田委員、大矢根委員、古谷野委員、佐々木委員、平田委員、村上委員、山口委員
事務局 高谷審議専門職

配布資料

- 資料1 第1回評価小分科会での確認事項
 - 資料2 マスタープラン2020策定に関わる利益相反排除の方針
 - 資料3 学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて
 - 資料4 評価小分科会及び委員の役割
 - 資料5 マスタープラン2017において重点大型研究計画に選定された区分Ⅰの研究計画で、継続条件を満たしかつ継続を希望する研究計画の継続審査について
 - 資料6 区分Ⅱの研究計画の適否のチェックについて
 - 資料7 歯学分野の応募提案一覧【非公開資料】
-
- 参考1 小分科会委員名簿
 - 参考2 第24期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
 - 参考3 公募要領
 - 参考4 学術研究領域コード表

議 題

1) 役員の選任について

互選により、委員長として丹沢委員が、副委員長として山口委員が、幹事として古谷野委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。

なお、議事要旨については各委員で内容確認後、委員長に一任すること、また、委員間でメールアドレスを共有することが承認された。

2) 利益相反についての考え方の確認

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある大矢根委員より、審査におけ

る利益相反についての考え方の説明があった。

3) 評価小分科会における審議事項等

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある大矢根委員より、資料について説明があった。

4) 取りまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、区分Ⅰの重点継続の適否及び否となった場合における審査のとりまとめ審議の方法を、【以下の①～④から選択】こととした。

- ① 委員間でメール等による議論を行ったうえで、最終的な判断は委員長（又は役員）による一任とする。
- ② 第2回小分科会を開催して決定する
- ③ 第2回小分科会をメール審議で開催して決定する
- ④ その他（具体的な方法をご記入ください）

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

文責 丹沢